

8月定例市長記者会見次第

日時：平成28年8月9日(火) 午前9時30分～／場所：庁議室

1 開会

2 情報提供

(1) 市長話題提供

- ① 掛川市伝統工芸体験教室について 【文化振興課】資料1-1
人間国宝の室瀬和美氏（漆芸）と大角幸枝氏（鍛金）によるワークショップ
- ② 広島市平和記念式典への中学生派遣事業の報告について 【企画政策課】資料1-2
- ③ 平成28年度静岡県・掛川市総合防災訓練について 【危機管理課】資料1-3

(2) 報告事項（各課から）

- ① かけがわ茶エンナーレセッションvol.1について 【文化振興課】資料2-1
- ② かけがわ乳幼児教育未来学会の設立について 【こども希望課】資料2-2

(3) 主な行事について

- ① 常葉大学・静岡文化芸術大学の学生による 【社会教育課】資料3-1
松ヶ岡（旧山崎家住宅）の活用整備計画発表会
と き：8月12日（金）13:30～16:00
ところ：松ヶ岡（旧山崎家住宅） 南西郷838
- ② 平成28年度掛川市戦没者追悼式 【福祉課】資料3-2
と き：8月15日（月）9:30～（受付9:00～）
ところ：掛川市生涯学習センター ホール
- ③ 平成28年度掛川市平和祈念式 【企画政策課】資料3-2
と き：8月15日（月）11:00～12:00
ところ：掛川市生涯学習センター ホール
- ④ ふれ愛・いとくり通りストリートパフォーマンス 【商業観光課】資料3-3
と き：8月20日（土）12:00～21:00
ところ：コミュニティ公園・いとくり通り周辺
◆テノール歌手 榛葉昌寛さんのミニコンサート 18:00～18:30
- ⑤ 第2回 金次郎と掛川の偉人検定 【社会教育課】
と き：8月21日（日）10:00～（受付9:30～）
ところ：大日本報徳社 大講堂

- ⑥ かけがわ子ども議会 【学校教育課】【議会事務局】
 と き：8月23日（火）9:00～
 ところ：掛川市役所 6階 議場
- ⑦ 中華民国（台湾）アーチェリー協会静岡合宿 【社会教育課】
 と き：8月23日（火）～9月1日（木）
 ところ：つま恋
- ⑧ 第1回白熱サイテク（サイエンス&テクノロジー）教室 【社会教育課】資料3-4
 と き：8月24日（水）8:50～（受付8:30～）
 ところ：掛川市生涯学習センター ホール
- ⑨ 掛川市地域創生戦略会議 【企画政策課】
 と き：8月29日（月）
 「ひとの動き・しごと」分科会：9:30～11:30
 「子育て・安心な暮らし」分科会：13:00～15:00
 ところ：全員協議会室
- ⑩ 掛川市総合教育会議 【企画政策課】
 と き：8月30日（火）15:00～17:00
 ところ：全員協議会室
- ⑪ 第14回全日本学生フォーミュラ大会 【企画政策課】
 と き：9月6日（火）～10日（土）
 ところ：小笠山総合運動公園（エコパ）
- ⑫ 第15回医療市民講座 【地域医療推進課】資料3-5
 と き：9月10日（土）10:00～12:00
 ところ：中東遠総合医療センター 3階大会議室

3 議会日程

全員協議会 8月19日（金）9:00～

4 質疑応答

5 閉会

次回定例市長記者会見 9月7日（水）午前9時30分～ 庁議室

定例記者会見
平成28年8月9日
文化振興課

掛川市伝統工芸体験教室について

【事業概要】

伝統工芸技術において人間国宝に認定されている大角幸枝氏と室瀬和美氏を講師に迎え、伝統工芸の「わざ」の実演を間近で鑑賞して直接指導を受ける、小学生を対象とした伝統工芸体験教室を、初の試みとして開催します。

【事業契機】

掛川市構江出身の大角幸枝氏が、平成27年10月に鍛金の重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定された栄誉を記念して、昨年12月に市役所で作品を展示しました。その際にご協力をいただいた（公財）岡田茂吉美術文化財団（MOA美術館）の代表理事である室瀬和美氏（蒔絵の人間国宝）に掛川市の文化振興施策にご賛同いただき、大角氏及び室瀬氏による伝統工芸体験教室の開催に至りました。

【事業目的】

掛川市では文化振興計画に基づき、将来を担う子どもや若者が豊かな感性を磨き、創造性豊かな人間形成がなされるよう、様々な文化振興施策を展開しています。

本事業を通じて、子どもたちが、人間国宝である一流の伝統工芸作家から日本の伝統工芸を学び体験し、文化に興味や親しみを持ってもらう機会を提供するとともに、今後も継続的に実施していくことにより、文化の裾野を広げ、文化を楽しむ人や文化の支えとなる人を増やし、文化振興の推進を図っていきます。

また、掛川市では、来年秋に市民にとって最も身近な「茶」と「文化芸術」を結びつけたアートプロジェクト「かけがわ茶エンナーレ」を開催します。来年の本番に向け、本年度から様々なイベントや関連事業を実施しますが、今回の伝統工芸体験教室もその一環として実施するもので、気運の醸成を図っていくものです。

【事業内容】

- ①「人間国宝・室瀬和美先生による横須賀小学校ワークショップ」（詳細は別紙参照）
日時 平成28年9月10日（土）午前9時45分～11時55分
会場 横須賀小学校
- ②「人間国宝・大角幸枝先生による西郷小学校ワークショップ」
日時 平成28年10月29日（土）午前9時45分～午後4時
会場 西郷小学校

主催 掛川市伝統工芸体験教室実行委員会、掛川市

協力 公益社団法人日本工芸会、公益財団法人岡田茂吉美術文化財団（MOA美術館）

助成 文化庁文化芸術振興費補助事業

担当者名 大石博之・中村光宏
電話番号 21-1126

講師プロフィール

◇大角 幸枝（おおすみゆきえ） 金工作家

流れるような稜線と金属特有の色彩が量感豊かな器形の美しさを引き立たせる、現代感覚にあふれた独自の作風を築かれています。

公益社団法人日本工芸会正会員

1945年 掛川市生まれ。掛川西高校、東京藝術大学卒。

2010年 紫綬褒章受章

2015年 重要無形文化財「鍛金」保持者認定

◇室瀬 和美（むろせかずみ） 漆芸家

伝統技法を踏まえながら独自の工夫を加え、多彩な色彩表現を取り入れた作品は、現代的感性が表現された端正な意匠と構成が特色で、気品と風格を備えたものと高く評価されています。

公益社団法人日本工芸会副理事長

1950年 東京生まれ。東京藝術大学大学院修了。

2008年 重要無形文化財「蒔絵」保持者認定

紫綬褒章受章

伝統工芸体験教室（9月10日）

「人間国宝・室瀬和美先生による横須賀小学校ワークショップ」

日時 平成28年9月10日（土）

9:45 はじめの会

10:00～11:45 ワークショップ

講師：室瀬和美先生、安藤源一郎先生（日本工芸会）、
鵜飼敏伸先生（日本工芸会）ほか

会場 横須賀小学校 図工室

内容 漆（うるし）と金粉を使って、スプーン（15cm位）に蒔絵（まきえ）をします。
蒔絵とは、漆器の表面に漆で模様を描き、固まらないうちに金粉をふりかける（蒔きつける）技法です。

対象 6年生の希望者40人

持ち物 材料費 600円

その他 ちっちゃな文化展の横須賀小学校展示スペースにおいて、子どもたちの作品の展示を計画中です。

※「人間国宝・大角幸枝先生による西郷小学校ワークショップ」（10月29日）は、内容調整中です。後日改めてお知らせいたします。

定例記者会見
平成28年8月9日
企画政策課

広島市平和記念式典 掛川市中学生派遣事業

- 1 派遣日時 平成28年8月5日～8月6日
- 2 参加者 市内中学生6人（東中、北中、大須賀中 各2人）、
浅井副市長、竹嶋市議会議長、市職員5人 計13人
- 3 派遣内容 (1) 8月5日
 - ・ピースボランティアによる解説を聞きながら、爆心地及び、
広島市平和公園を見学した。
 - ・原爆の子の像へ参加生徒の学校や市民から託された折り鶴
3,000羽を捧げた。
 - ・広島平和記念資料館内を見学した。
 - ・被爆体験朗読会へ参加し、被爆2世が読む体験記を傾聴した。
 (2) 8月6日
 - ・広島市平和記念式典へ参列した。
- 4 中学生の感想

「原爆がもたらした生々しさを感じ、人々の叫びを聞いたような気がする。」

「本当の平和は、たくさんの人の『思い』から作られるのではないか。」

「オバマ大統領の言葉や、こども代表の平和の誓いに感動を受けた。」



託された折り鶴を手にピースボランティアの話を聞く生徒



平和式典で壇上の話を聞く生徒

担当者名 深田貴子・村上宏行
電話番号 21-1127

定例記者会見
平成28年8月9日
危機管理課

平成28年度静岡県・掛川市総合防災訓練について

1 日時 平成28年9月4日（日）

地震発生	8：30	（同報無線）
大津波警報	8：35	（同報無線）
大津波警報解除	8：45	（同報無線）
閉会式	11：30	（旧市営住宅和田団地会場）
市長メッセージ	11：45	（同報無線）
訓練終了	12：00	

2 目的

大規模地震の発生を想定した総合防災訓練を掛川市で実施することにより、静岡県と掛川市の連携及び災害対策本部機能を強化するとともに、防災関係機関による広域的な救援体制を確認する。

また、自主防災組織と消防団、防災関係機関等が連携した実践的な訓練を行うことにより、地域防災力の向上を図る。

3 テーマ

～自助・共助、地域で高める掛川の防災力、死亡者ゼロのまちづくり～

4 実施会場（別紙1参照）

（1）掛川市

市役所本庁、東名・新東名高速道路、掛川市生涯学習センター、JR掛川駅、西之谷公民館、ねむの木村、東山地域生涯学習センター、泉公民館（バス反転場）、総合体育館「さんりーな」、中東遠総合医療センター、希望の丘、旧市営住宅和田団地、市立上内田小学校、市立城東中学校、大東北運動場、市立大浜中学校、くにやす苑、市立大須賀中学校、大須賀運動場、市内各所

5 主催

静岡県、掛川市

6 参加機関

県、掛川市、自主防災会、消防団、警察本部、各消防本部、自衛隊、在日米軍、国出先機関、医療救護機関、ライフライン機関、地域の法人・団体、ボランティア組織等

7 想定（静岡県第4次地震被害想定：レベル2の被害想定）

平成28年9月4日（日）午前8時30分頃、南海トラフ巨大地震が発生し、県内の広い範囲で震度7の揺れを観測、まもなく沿岸には大津波が襲来した。

この地震により、建物倒壊、津波浸水、土砂災害、火災等の大きな被害が発生、県及び市は直ちに災害対策本部を設置して対処にあたる。

8 訓練の重点項目

- (1) 多数の自主防災組織の参加による訓練
 - ア 自主防災会と消防団が連携した、倒壊家屋からの住民救出訓練や消火訓練
 - イ 市内全域における避難訓練や避難所運営訓練
 - ウ 市民トリアージ及び救護所等への傷病者搬送訓練
- (2) 自衛隊、警察、消防等による連携訓練
 - ア 警察車両の先導による部隊進出訓練
 - イ 自衛隊、警察、消防等の実動部隊参加による現地調整所運営訓練
- (3) 市内の災害拠点病院、二次救護所、初動時救護所などが連携した、医療救護体制確立訓練
 - ア 医師会、歯科医師会、薬剤師会などによる二次救護所や初動時救護所などの開設、運営訓練
 - イ 初動時救護所などから災害拠点病院への重症患者の搬送訓練
- (4) 掛川市の自然地形や立地環境に応じた訓練
 - ア 中山間地を有し災害時において孤立が予想される集落への、支援物資の輸送や住民の救出訓練
 - イ 東名及び新東名高速道路を活用した支援物資輸送や、広域応援部隊の受援訓練
 - ウ 建物が密集する、市街地を想定した大規模火災延焼阻止訓練
 - エ 沿岸部における、津波浸水を想定した救出訓練
- (5) 小中高生や若者など、次世代を担う人材を育成する訓練
 - ア 学校と地域の協働による、広域避難所運営訓練
 - イ 中学生を主体とした、地域住民への三角巾を使った応急手当や、患者の搬送方法などの指導

9 中止等の伝達

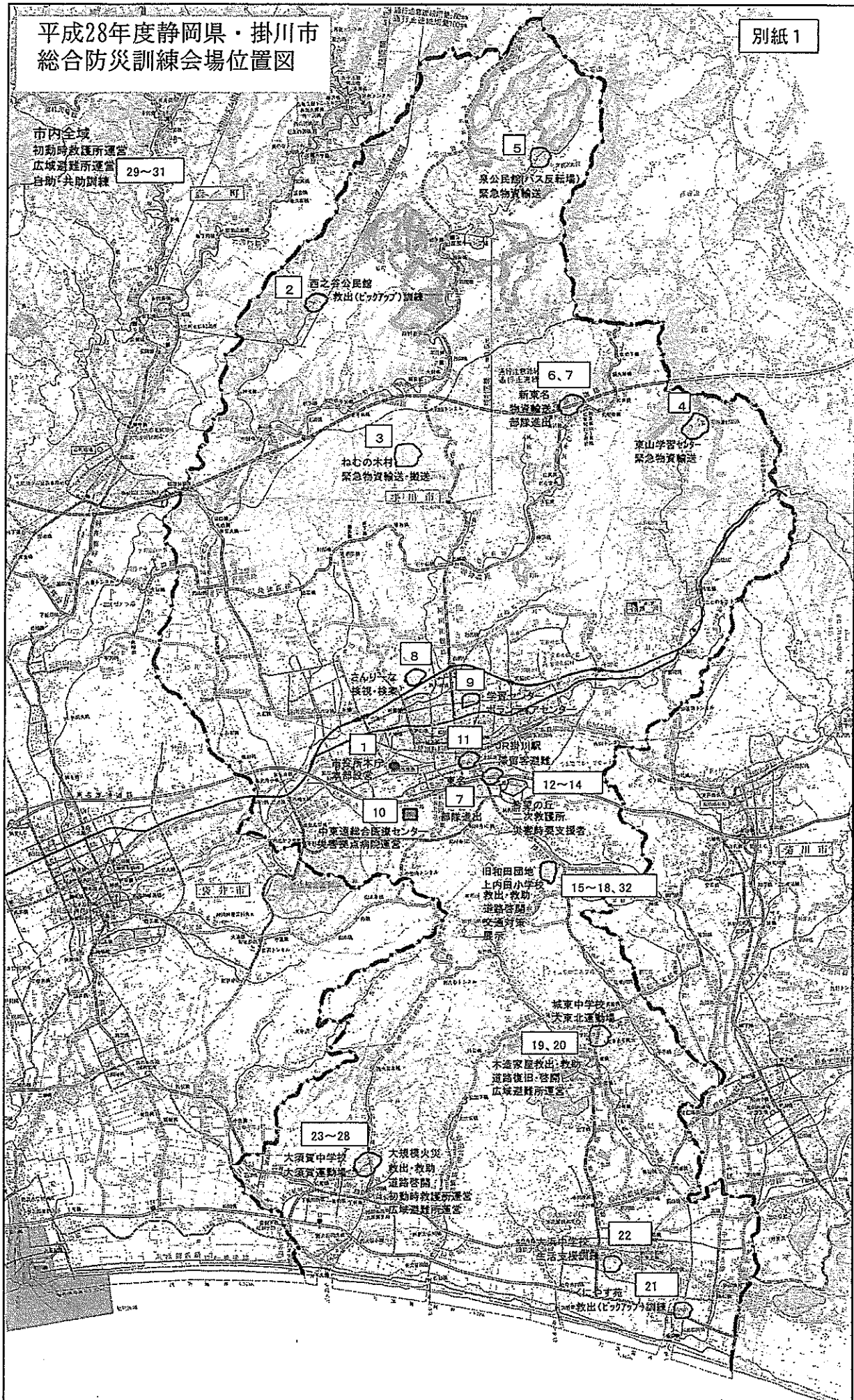
県・市は訓練当日の午前6時00分に実施・中止を決定し、以下により参加機関・住民等に伝達する。

時刻	内容
7時00分	市の同報無線、メールマガジン等による広報 災害伝言ダイヤル(171)による案内
7時30分	市のホームページ等への掲載

危機管理課 防災対策係
担当：平井・山本
電話：0537-21-1131

平成28年度静岡県・掛川市
総合防災訓練会場位置図

別紙1



平成28年度静岡県・掛川市総合防災訓練 会場別訓練概要一覧表

別紙2

エリア名	グループ番号	会場	ゾーン名	訓練番号	連携1	連携2	訓練項目	訓練イメージ	参加要請 自主防災会	参加要請・希望団体
掛川エリア	㉠	掛川市役所(本庁)	災害対策本部設営	1	全		災害対策本部運営訓練	対策本部を開設、情報の収集および応援要請を行う。情報の発信、広報を実施する。		中部地方整備局、自衛隊、静岡県警、静岡県、掛川消防、掛川市等
		新東名高速道路(掛川PA) 東名高速道路(掛川IC)	物資輸送	6	9-1	30	支援物資輸送訓練	新東名高速道路掛川パーキングの緊急開口部を活用し、掛川市生涯学習センターへ支援物資を輸送する。		中日本高速道路、トラック協会等
			部隊進出	県4	9-1 3		応援部隊進出訓練	自衛隊等の応援部隊が、警察車両の誘導により市内の活動地点に向けて進出する。		中日本高速道路、自衛隊、静岡県警等
		掛川市生涯学習センター	ボランティアセンター	9-1	6		ボランティアセンター運営訓練	市内外から駆けつけたボランティアに対し、社会福祉協議会および災害VCによるボランティアセンターの開設、運営の実施。		社会福祉協議会、災害VC掛川、支援掛川、バイクボランティア連絡協議会、掛川市等
				9-2	13 30		災害ボランティア派遣訓練	ボランティア需要と供給のマッチングを行う。各広域避難所等からの要請に対し、ボランティアの派遣を実施する。		
	JR掛川駅	避難	11			滞留客避難訓練	掛川駅に滞留したJR東海及び天竜浜名湖線の乗客を保護、職員とともに、協力事業所への誘導を行う。		JR東海、天竜浜名湖鉄道、藤田鐵工所、静岡県、掛川市	
	㉡	西之谷公民館	救出・搬送	2	5	10-1	ヘリコプターによる救出・搬送訓練	道路の寸断で孤立集落となった地域の傷病者等を、ヘリコプターにより救出(ピックアップ)し、災害拠点病院へ搬送する。	上西之谷	県航空隊、消防団
		ねむの木村(学園)	緊急物資輸送・搬送	3	31	19-2	ヘリコプターによる物資輸送・傷病者搬送訓練	道路の寸断で孤立集落となった地域へ、ヘリコプターにより緊急的に支援物資の輸送と傷病者の災害拠点病院等への搬送(仮)を行う。	上垂木	自衛隊、ねむの木村、消防団
		東山地域生涯学習センター	緊急物資輸送	4	30	24-2	緊急物資輸送訓練	主要道路の寸断で孤立集落となった地域へ、空路からのアプローチを行い、緊急的に支援物資を輸送する。	東山1班~4班	自衛隊、消防団
		泉公民館(バス反転場)		5	31	2			泉	県航空隊、消防団
	㉢	総合体育館「さんりーな」	検視・検案	8	10-1		遺体収容所運営訓練	遺体検視訓練の実施、検視を終えた遺体の収容・安置訓練。		小笠医師会、小笠掛川歯科医師会、静岡県歯科医師会、静岡県警、掛川市、市内協力企業等
	㉣	中東遠総合医療センター	災害医療	10-1	5、15-5、19-2、21、29		災害拠点病院運営訓練	病院前に仮設トリアージ場所を設置し、搬送されてきた患者の受け入れ、トリアージを行う。		中東遠総合医療センター、自衛隊、静岡県警、県西部地区消防本部(湖西、浜松、菊川、御前崎)、掛川消防、スギノマシン掛川事業所等
				10-2			広域医療搬送訓練	広域搬送が必要な重症患者を現地ヘリポート等から、航空自衛隊浜松基地へ搬送(仮)する。		
				10-3			非常用燃料等補給訓練	病院受水槽への給水及び非常用燃料補給訓練。		中遠環境保全、掛川市危険物安全協会
		希望の丘	救護所	12	15-5、29		二次救護所運営訓練	掛川東病院前に仮設トリアージ場所を設置し、トリアージを行う。小笠医師会等による二次救護所の開設、運営を行う。		小笠医師会、小笠掛川歯科医師会、小笠袋井医師会、災害時医療救護ボランティア、日赤静岡県支部、掛川市、市内協力企業等
災害時要支援者			13	9-2		福祉避難所開設・運営訓練	災害発生時に一般の避難所での生活が困難な要支援者を受け入れるため、福祉避難所を掛川特別支援学校に開設、運営する。		掛川特別支援学校、掛川市等	
生活支援			14-1	13		炊き出し訓練	自衛隊の炊飯車による炊き出しを実施する。		自衛隊、掛川特別支援学校	
	14-2			ライフライン復旧(仮送電)訓練	発電機車による仮送電訓練。		中部電力(株)静岡支店			

掛川エリア	㊦	旧市営住宅和田園地 掛川市立上内田小学校	救出・救助	15-1	15-2、15-4 16	検索(要救助者)訓練	ドローンを使用し、上空から要救助者の検索を行う。		マルチコプター利用協議会	
				15-2	15-1 16	15-5	救出・救助(倒壊家屋)訓練	倒壊家屋からの救出救助。災害救助犬による検索活動の後、掛川消防救助隊と緊急消防援助隊による救出活動を行う。		災害救助犬静岡、県西部地区消防本部(浜松)、掛川消防
				15-3			交通対策・車両多重事故訓練	警察による、緊急交通路の交通対策及び車両多重事故現場での、広域緊急援助隊による救助活動の実施。		警察(広域緊急援助隊等)、県警備業協会、県電業協会、県レッカー組合、ロータス静岡県支部、JAF
				15-4	15-1	15-5	救出・救助(埋没車両)訓練	自衛隊による、埋没家屋・車両からの救出救助。瓦礫除去活動の後、車両内等からの救出活動を行う。		自衛隊等
				15-5	15-2 12 15-4	10-1 29	傷病者搬送訓練	多数の傷病者を救急隊、消防団、自主防災会が連携しトリアージを行い、救急車により災害拠点病院へ搬送する。	桶田、五百済、段金谷、下坂沢、上坂沢、和田、子隣、岩井寺、大谷、城山	県西部地区消防本部(浜松)、掛川消防、消防団
			16	15-1 15-4		道路啓開訓練	地震により、瓦礫等で封鎖状態にある道路を重機により啓開する。		災害救助犬静岡、掛川消防、中部地方整備局、掛川建設業協同組合、袋井建設業協会	
			17			炊き出し訓練	赤十字奉仕団及び自主防災会による炊き出し訓練を実施する。	桶田、五百済、段金谷、下坂沢、上坂沢、和田、子隣、岩井寺、大谷、城山	赤十字奉仕団、中遠ガス	
			18			映像配信訓練	モバイル端末等からのリアルタイムによる、他会場等への映像の配信を実施。		協力事業所等	
大東エリア	㊧	掛川市立城東中学校 大東北運動場	救出・救助	19-1	19-2	救出・救助(木造倒壊家屋)訓練	木造家屋の倒壊により閉じこめられた住民を、建設事業協同組合、消防団及び自主防災会の連携により救助する。災害救助犬による検索活動の後、静岡県警等の応援部隊を投入する。	土方(嶺向、下北、大坪台)	災害救助犬静岡、静岡県警、消防団、大東建設事業協同組合、袋井建設業協会	
				19-2	19-1	10-1 29	傷病者搬送訓練	救出・救助訓練において救出された傷病者を、ヘリコプター、救急車にて災害拠点病院に搬送する。		自衛隊、スギノマシン掛川事業所、県西部地区消防本部(湖西・菊川・御前崎)、掛川消防、消防団
			20			応急架柱橋設置訓練	地震により、主要道路に架かる橋が落橋。応急架柱橋を設置し、支援のための進出路を確保する。		自衛隊	
		くによす苑	救出・搬送	21	10-1	ヘリコプターによる救出・搬送訓練	津波浸水により、孤立した施設利用者等をヘリコプターにより救出(ピックアップ)し、災害拠点病院等へ搬送する。		くによす苑、静岡県警、スギノマシン掛川事業所、消防団	
掛川市立大浜中学校	生活支援	22	30	避難所における生活支援訓練	広域避難所に自衛隊が入浴セットを展開し、避難者への支援を行う。	三浜、浜野(一部)、大坂(一部)	自衛隊、掛川市			
大須賀エリア	㊨	掛川市立大須賀中学校 大須賀運動場	救出・救助	23	24-1	救出・救助(木造倒壊家屋)訓練	木造家屋の倒壊により閉じこめられた住民を、建設事業協同組合、消防団及び自主防災会の連携により救助する。自衛隊の応援部隊を投入する。	沙見ヶ丘、柏平、西大谷	自衛隊、在日米軍、消防団、大須賀町建設事業協同組合、袋井建設業協会	
				24-1	23	24-2	初動時救護所開設運営訓練	小笠医師会、小笠掛川歯科医師会、小笠袋井薬剤師会、災害時医療救護ボランティア等による初動時救護所の開設及び運営訓練を実施。自主防災会等により搬送されてきた、傷病者のトリアージ及び処置を実施。		小笠医師会、小笠掛川歯科医師会、小笠袋井薬剤師会、災害時医療救護ボランティア、自衛隊、在日米軍、消防団、大須賀中学生、掛川市等
			24-2	23 24-1		患者搬送訓練	倒壊家屋から救出された傷病者を、自主防災会、自衛隊により初動時救護所に搬送する。また、重症患者をヘリコプターを使用し搬送(仮)する。	沙見ヶ丘、柏平、西大谷		
			25			大規模火災延焼阻止訓練	住宅密集地において、大規模な火災が発生。延焼を阻止するため消防機関、消防団、自主防災会が連携して消火作業を行う。	川原町、十六軒町、大谷町、新屋町	県西部地区消防本部(怒田・袋井)、掛川消防、消防団、大須賀中学生、NECフィールディング等	
			26	9-2		広域避難所運営訓練	自主防災会による、広域避難所の開設及び運営訓練を実施する。	川原町、沙見ヶ丘、柏平、十六軒町、大谷町、新屋町、西大谷	大須賀中学生、掛川市、県LPガス協会西部支部	
			27			ライフライン復旧(通信)訓練	災害用伝言板・衛星携帯電話等の体験訓練		NTT西日本、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク	
			28			映像配信訓練	モバイル端末等からのリアルタイムによる、他会場等への映像の配信を実施。		協力事業所等	
			全域	-	市内全域	救護所	29	10-1 12	初動時救護所開設運営訓練	小笠医師会、小笠掛川歯科医師会、小笠袋井薬剤師会、災害時医療救護ボランティア等により、市内5箇所(大須賀中を含む)の初動時救護所の開設及び運営訓練を実施。自主防災会、企業により搬送されてきた、傷病者のトリアージ及び処置を実施。
30	6 9-2	広域避難所運営訓練					自主防災会により、市内42箇所(上内田小・城東中・大須賀中を含む)の広域避難所の開設及び運営訓練を実施。	全自主防災会	掛川市等	
31	29、30	自助・共助訓練				自主防災会の計画により、市内全域で「自助」「共助」訓練を実施する。		消防団等		

平成28年度静岡県・掛川市総合防災訓練進行表

No.	会場	訓練番号	訓練項目	時間																															
				7:30	7:40	7:50	8:00	8:10	8:20	8:30	8:40	8:50	9:00	9:10	9:20	9:30	9:40	9:50	10:00	10:10	10:20	10:30	10:40	10:50	11:00	11:10	11:20	11:30	11:40	11:50	12:00	12:10			
①	掛川市役所(本庁)	1	災害対策本部運営訓練 8:30~11:30					本部員参集				災害対策本部立ち上げ・運営																終了							
②	新東名高速道路(掛川PA) 東名高速道路(掛川IC)	6	支援物資輸送訓練 8:45~11:00			三の丸 物資積み込み		新東名PA移動		要請		輸送開始		学習センター到着・仕分け				各広域避難所へ輸送開始				掃還		終了											
		県4	応援部隊進出訓練 8:30~9:10			駐車場整理		要請		部隊進出																		終了							
③	掛川市生涯学習センター	9-1	ボランティアセンター運営訓練 8:30~12:00					市本部員派遣				要請		立ち上げ会議		VC立ち上げ・運営																撤収		終了	
		9-2	災害ボランティア派遣訓練 9:10~11:30									派遣訓練①		派遣訓練②				ニーズ受付訓練				終了													
④	JR掛川駅	11	滞留客避難訓練 8:30~10:00					要請・市本部員派遣				発見・要請		駅南公園移動		要請②		豚田鐵工所へ移動		受入		終了													
⑤	西之谷公民館	2	ヘリコプターによる救出・搬送訓練 9:35~10:00					要請・市本部員派遣				発見・要請		救出		中東遠総合医療センター着陸(10:10)																			
⑥	ねむの木村(学園)	3	ヘリコプターによる物資輸送・ 傷病者搬送訓練 9:35~9:50					発見・要請				輸送・救出		城東中会場へ移動(10:00着陸)																					
⑦	東山地域生涯学習センター	4	緊急物資輸送訓練 9:40~10:00					発見・要請				輸送・救出		大須賀中会場へ移動(10:10着陸)																					
⑧	泉公民館(バス反転場)	5	9:10~9:35					発見・要請				西之谷会場へ移動(9:45到着)																							
⑨	総合体育館「さんりーな」	8	遺体収容所運営訓練 8:30~11:30	7:00 集合		会場設営		受付準備				受付・検視・検案																終了							
⑩	中東遠総合医療センター	10-1	災害拠点病院運営訓練 8:30~11:30									本部設置・仮設トリアージ場所設置・搬送者受入																終了							
		10-2	広域医療搬送訓練 10:25~10:45									患者受入(10:40~11:30)				要請				重症患者搬送(搬出のみ)		羽田空港へ													
		10-3	非常用燃料等補給訓練 9:00~10:00					要請				給水・給油対応				終了																			
⑪	希望の丘	12	二次救護所運営訓練 8:30~11:30			医師参集(8:30)		開設準備		役割確認		搬送者受入・トリアージ・処置																撤収		終了					
		13	福祉避難所開設・運営訓練 8:30~11:30					市本部員派遣				福祉避難所開設・運営																終了							
		14-1	炊き出し 8:40~11:30					要請				炊き出し																終了							
		14-2	ライフライン復旧(仮送電)訓練 8:40~9:40					要請				仮送電対応				終了																			

時間	視察会場・時系列				
	市長	伊村副市長	浅井副市長	教育長	市議会議員
7:00					
7:15					
7:30					
7:50					
8:00					
8:15					
8:30	地震発生 市長車にて発	地震発生 訓練開始	地震発生 市役所本庁 発	地震発生 市役所本庁 発	
8:40	希望の丘 着 県知事と合流		移動(30分)	移動(40分)	
8:50	視察30分間	市役所本庁 発			
9:00	希望の丘 発 県マイカーにて移動	さんりーな 着	くによす苑 着		
9:10			視察20分間	原野谷中 着	
9:20	移動(30分)		くによす苑 発		
9:25		視察30分間	大浜中 着 移動(5分)	視察30分間	
9:30	大須賀中 着	さんりーな 発			正副議長 旧和田団地会場
9:40		移動(20分)	大浜中 発 視察15分	原野谷中 発	
9:50	視察30分間	中東遠総合医療センター 着			
10:00	大須賀中 発	視察30分間	移動(45分)	移動(50分)	
10:20	城東中 着	中東遠総合医療センター 発			
10:25		移動(10分)	栄川中 着		
10:30	視察20分間	希望の丘 着		生涯学習センター 着	
10:40	城東中 発	視察20分間	栄川中 発 視察15分	視察20分間	
10:50	旧市営住宅和田団地 着	希望の丘 発		生涯学習センター 発	
11:00		移動(20分)	移動(40分)	移動(30分)	
11:10	視察30分間	旧市営住宅 和田団地 着			
11:20	旧市営住宅和田団地 訓練終了			旧市営住宅和田団地 着	
11:30	閉会式				
11:45	旧市営住宅和田団地 発 県マイカーにて移動	旧市営住宅和田団地 発			
12:00	市役所本庁 着				
12:20	昼食				
13:00	合同記者会見 (30分)				
13:30	県知事 掛川市役所 発				

注：県との調整により、スケジュールは変更となる場合があります。



定例記者会見
平成28年8月9日
文化振興課

「茶エンナーレセッション vol.1」を開催します

「茶エンナーレセッション」は、市民の参加を呼びかけ、「かけがわ茶エンナーレ」を市民のみなさんと一緒に考える機会として、来年秋の茶エンナーレ本番までの間、毎回異なるテーマや切り口で開催していきます。

この度、「茶エンナーレセッション vol.1」として、ワークショップ「キッズアート いろのらくえん」及びトークセッション「アートで遊ぼう～お茶に恵まれたアートな暮らし～」を下記のとおり開催します。

記

- 日時 8月11日（木・祝） 10時30分 から 16時30分まで
- 会場 22世紀の丘公園・たまり～な（掛川市満水1652）
- 内容 ワークショップ「キッズアート いろのらくえん」
トークセッション「アートで遊ぼう～お茶に恵まれたアートな暮らし～」
※掛川の美味しい冷茶サービス付き

事業の概要

① ワークショップ「キッズアート いろのらくえん」

アーティストの船井美佐さん（現代美術作家）といっしょに、色の美しさを感じながら、アオとキイロをまぜていろんなミドリを作ってみたり、掛川の色をみんな考えてみたり、大きな葉っぱの絵をつくってみたりして、みんなで大きなキャンバスに絵を描きます。

項目	概要	要
時間	第1部 10:30～12:00、第2部	13:00～14:30
場所	たまり～な	工作室
対象	3歳から大人まで（未就学児は保護者同伴）	
持ち物	着替え、または、汚れてもいい服装で参加	
入場	参加無料、入場自由（100名程度）	
先生	船井美佐（ふないみさ）/現代美術作家	

② トークセッション「アートで遊ぼう～お茶に恵まれたアートな暮らし～」

かけがわ茶エンナーレの最初のセッションは、「アートで遊ぼう～お茶に恵まれたアートな暮らし～」をテーマに、かけがわ茶エンナーレ総合プロデューサーの山口裕美さんをコーディネーターにむかえ開催します。

掛川で子どもたちに環境や教育に関する活動をされている松浦昌巳さんや、美術に関する活動をされている山本和子さんをパネリストに、「子ども時代のこと」や「今、直面していること」についてお話をいただくとともに、アーティストの船井美佐さんには「地域のアートプロジェクトや子育てのこと」など、身近なテーマでお話をいただきます。

項目	概 要
時 間	15:00～16:30
場 所	たまり～な 大研修室
対 象	一般（お子様との入場可）
入 場	参加無料（100名程度）
パネリスト	船井美佐（現代美術作家） 松浦昌巳（NPO法人WAKUWAKU西郷理事長、茶農家、掛川市教育委員） 山本和子（NPO法人掛川の現代美術研究会代表、（株）大国屋本店代表取締役） （コーディネーター） 山口裕美（かけがわ茶エンナーレ総合プロデューサー、アートプロデューサー、（株）YYARTS代表）

（参考）茶エンナーレセッションとは

「かけがわ茶エンナーレ」は、日本有数の茶産地掛川を舞台に、市民にとって最も身近な「茶」と「文化芸術」の結びつきによるアートプロジェクトです。

市民とアーティストたちによって市内全域で展開される文化芸術プログラムへ、創る側、観る側として多くの市民に参加していただき、子どもから高齢者まで楽しめる未来につながるアートプロジェクトを展開します。

また、その舞台となる美しい茶園や歴史ある街並みなどの地域資源の魅力や価値を再認識するとともに、掛川の新たな魅力を世界に向けて発信して、「茶」を「縁」にした国内外との交流拡大、産業振興、移住・定住の促進などにもつなげていきます。

これから行う「セッション」は、市民の参加を呼びかけ、「かけがわ茶エンナーレ」を市民の皆さんと一緒に考える機会として、来年秋の茶エンナーレ本番までの間、毎回異なるテーマや切り口で開催していきます。

この「セッション」に参加していただき、市民総参加で楽しめる「かけがわ茶エンナーレ」を皆さんと実現していくものです。

担当者名 中村光宏・大石博之
電話番号 21-1126



茶エンナーレ

Chaennale Session

セッション Vol.1

茶エンナーレに
向けて、みんな
で考えよう

KAKEGAWA
CHAENNALE

「かけがわ茶エンナーレ～アートがいきづく茶産地へ～」は、2017 秋(10.21→11.19)に開催されます。



参加
無料

掛川の美味しい冷茶
サービス付

ワークショップ

キッズアート いろいろらくえん

- ▶第1部 10:30～12:00
- ▶第2部 13:00～14:30

トークセッション

アートで遊ぼう

～お茶に恵まれたアートな暮らし～
▶15:00～16:30



平成28年

日時 **8/11** (木/祝)
10:30～16:30

会場 **22世紀の丘公園・たまり～な**
静岡県掛川市満水1652 TEL:0537-24-2722

お問い合わせ **かけがわ茶エンナーレ実行委員会 事務局**
〒436-8650 静岡県掛川市長谷1-1-1
掛川市役所文化振興課内
TEL:0537-21-1126 FAX:0537-21-1165

ホームページ
<http://www.chaennale.jp/>



助成：一般財団法人 地域創造
協力：ターナー色彩株式会社



平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

ワークショップ

① 10:30~12:00 ② 13:00~14:30

会場 たまり~な 工作室



ふな い み さ
船井美佐 / 現代美術作家

1974 京都市に生まれる
2001 筑波大学大学院修士課程芸術研究科修了
2009 「VOCA展2009
現代絵画の展望—新しい平面の作家たち」
(上野の森美術館/東京/同 2010)
2013 「KAMIKOANI プロジェクト秋田 2013」
(旧沖田小学校・上小阿仁村/秋田)
2014 「ワンダフルワールド」 (東京都現代美術館/東京)
2015 「こどもと旅する美術館」(美ヶ原高原美術館/長野)
個展「楽園/境界~どこにもない場所~」
(奈良町現代美術館/岡山)

キッズアート いろいろのらくえん

アーティストの船井美佐さんといっしょに絵を描こう!

色の美しさを感じながらみんなで大きなキャンバスに絵を描きます。

アオとキイロをまぜていろいろなミドリを作ってみよう。

掛川の色はどんな色?

大きな葉っぱの絵をつくろうよ。

〈対象〉 3歳から大人まで

(未就学児は保護者同伴。見学の兄弟同伴可)

〈持ち物〉 着替えまたは、汚れてもいい服装でご参加ください。

参加無料
入場自由
(100名程度)

トークセッション

15:00~16:30

会場

たまり~な 大研修室

〈対象〉 一般(お子様との入場可)
参加無料

〈託児所を併設します〉

ご希望の方は8/2(月)までに要申込。

申込先: かけがわ茶エンナーレ実行委員会事務局 TEL 0537-21-1126

アートで遊ぼう

—お茶に恵まれたアートな暮らし—

子どもの頃から美味しいお茶を飲んで育つ掛川の子どもたち。大人になっても美味しいお茶の味がわかります。子どもの頃から続けていけば現代アートも同じです。かけがわ茶エンナーレの最初のセッションでは、掛川のことをよく知る松浦さん、山本さんに子ども時代のこと、今、直面していること。さらに船井さんには地域のアートプロジェクトや子育てのこと。身近なテーマで話をします。ぜひお越しください。

パネリスト

船井美佐

現代美術作家

イメージネーションと現実の境界をテーマに絵画作品を制作。見る者が絵の中に入り込み反転する空間を作り出す。鏡の作品シリーズや、子供が乗って遊ぶ事が出来る絵画インスタレーションなどを展開。美術館等での発表の他に、パブリックアートや地域のアートプロジェクトなど、社会と交差するアートの在り方について考えている。

松浦昌巳

NPO法人WAKUWAKU西郷理事長
茶農家、掛川市教育委員

2007年から地区ぐるみの古紙回収事業を推進し、西郷小学校に太陽光発電システムを導入するプロジェクトを成功に導いた。平成27年には古紙だけでなく、アルミ缶などをふくめた資源化物回収事業を行う「あすなる応援団」を立ち上げ、市内小中学校へICT教育教材などを寄付する活動を展開。地域と一丸となって環境、教育の活動に取り組んでいる。

山本和子

NPO法人掛川の現代美術研究会代表
(株)大田屋本店 代表取締役

2002年、美術品が配された街の魅力を発信する事業を行う「掛川の現代美術研究会」を発足。2007年より山口裕美氏プロデュースによる「掛川現代アートプロジェクト」を行い、7つの茶道具を制作して「夜的美術館と現代アート茶会」でお披露目するなど、「茶」と「アート」を融合させた取り組みを行っている。その他、「街中美術館」「チョークアートフェスティバル」、「掛川ひかりのオブジェ展」を手掛けている。

コーディネーター

山口裕美

かけがわ茶エンナーレ総合プロデューサー
アートプロデューサー、(株)YYARTS代表

アーティストを最も近い場所から応援するその活動から「現代アートのチアリーダー」の異名を持つ。「イト金沢99総合プロデューサー」。

NPO法人「芸術振興市民の会」を仲間と設立(2000)現理事長。「掛川現代アートプロジェクト」プロデューサー(2008-2014)。公益財団法人現代芸術振興財団ディレクター。玉川大学観光学部・女子美術大学芸術学部非常勤講師。

現在、静岡新聞にて「時評」連載中。http://yyarts.co.jp

茶エンナーレセッションとは

「かけがわ茶エンナーレ」は、日本有数の茶産地掛川を舞台に、市民にとって最も身近な「茶」と「文化芸術」の結びつきによるアートプロジェクトです。

市民とアーティストたちによって市内全域で展開される文化芸術プログラムへ、創る側、観る側として多くの市民に参加していただき、子どもから高齢者まで楽しめる未来につながるアートプロジェクトを展開します。

また、その舞台となる美しい茶園や歴史ある街並みなどの地域資源の魅力や価値を再認識すると共に、掛川の新たな魅力を世界に向けて発信して、「茶」を「緑」にした

国内外との交流拡大、産業振興、移住・定住の促進などにもつなげていきます。

これから行う「セッション」は、市民の参加を呼びかけ、「かけがわ茶エンナーレ」を市民のみなさんと一緒に考える機会として、来年秋の茶エンナーレ本番までの間、毎回異なるテーマや切り口で開催していきます。

この「セッション」に参加し、市民総参加で楽しめる「かけがわ茶エンナーレ」を実現させましょう!

定例記者会見
平成28年8月9日
こども希望課

「かけがわ乳幼児教育未来学会」設立について

掛川ならではの一体感のある新たな教育研究組織「かけがわ乳幼児教育未来学会」の設立に向けた、現在の進捗状況をお知らせします。

【学会設立の目的】…（別紙趣意書(案)参照）

乳幼児教育の現状は、公立や私立、保育所や幼稚園、認定こども園、さらには小規模保育所や認可外保育所など多様な環境のある中で保育・教育が展開されています。また、今後、大東・大須賀区域の再編も計画されており、さらなる変化が予測されています。

そのような現状の中で、私たちは、今こそ、子どもたちの未来のために、乳幼児保育・教育関係者が「協働」の理念でつながり、切磋琢磨して実践研究を展開することにより、「質の高い保育・教育」をつくりだすため、「かけがわ乳幼児教育未来学会」を設立します。

学会には、未来学会特別研究委員会を置き、特に97%と高い就園率である3歳児から5歳児の無償化など幼児教育制度のあり方について、現状分析と今後の方向性について学術研究者を加えて研究をします。

【学会設立により期待される効果】

- ① 保育・教育の質の向上が図られる。
- ② 保育・教育の従事者等の相互交流及び連携が図られる。
- ③ 乳幼児教育制度のあり方について研究が進み、掛川市から国県へ発信できる。

【現在の進捗状況】

第1回準備委員会開催 7月19日

① 委員構成

委員長：浅井副市長、副委員長：山田教育長

委員：公立私立の保育所や幼稚園及び認定こども園や小規模保育所の園長又は法人理事長、社会教育委員、民生委員・児童委員、小学校長代表、小学校教頭代表、こども希望部長 計16人

② 事務局 こども希望部

【年間スケジュール】

7月19日	第1回準備委員会
9月	第2回準備委員会
11月	第3回準備委員会
12月17日(土)	設立総会及び記念講演会
1月	特別研究委員会設置、第1回特別研究委員会
1月～	各部会活動開始
2月	第2回特別研究委員会
3月	第3回特別研究委員会

担当者名 沢崎知加子・佐藤勝子
電話番号 21-1205

掛川市は、平成28年度を「協働のまちづくり開花の年」とし、市民・法人・議会・行政・市民団体等が協働してまちづくりを進めていく決意を明らかにしている。

乳幼児教育においては、公立や私立があり、保育所や幼稚園、認定こども園、さらには小規模保育所や認可外保育所など多様な環境のある中で保育・教育が展開されている。今後、大東・大須賀区域の再編も計画されており、さらなる変化が予測される。

私たちは、今こそ、子どもたちの未来のために、乳幼児保育・教育関係者が「協働」の理念でつながり、切磋琢磨して実践研究を展開することにより、「質の高い保育・教育」をつくり出す必要がある。

そのため、掛川ならではの一体感のある新たな教育研究組織「かけがわ乳幼児教育未来学会」を設立する。

以下、設立の必要性を4つの視点から述べる。

1 乳幼児をとりまく状況

- (1) 少子高齢化等の社会の変化により、三世帯同居家庭の減少、一人親家庭や貧困家庭の増加など家族の姿も大きく変わってきた。これまで普通であった「家族で子どもを育てる」人々が減少し、乳児期から保育施設に預けて「働きながら子どもを育てる」人々が増加し、保育ニーズの大きな高まりとなっている。
- (2) 祖父母のいない家庭やきょうだいの少ない家庭が増え、近所づきあいも薄くなる中で、子育ての様子を見る機会が少ないまま親になるケースが増えている。乳児期から預け、直接肌をふれあって愛着形成をする時間が短くなっていることもあり、子育てが思い通りにならないなど不安を感じている親が増えている。我が子への虐待が増加している。
- (3) 遊びの機会や豊かな体験の減少が進み、友達とかかわる力の低下している子どもが増加している。一人一人の個性を伸ばすとともに、集団で生活し活動することや心と体のたくましさを育む必要がある。

2 保育・教育制度の状況

- (1) 長い間、保育所と幼稚園という縦分けがあり、厚生労働省と文部科学省の違い、保育所保育指針と幼稚園教育要領の違い、保育士と幼稚園教諭の違いなど二通りの制度で展開してきたところである。同じ子どもでありながら違う制度では矛盾があるとの認識も広まり、旧掛川市では全国に先駆けて「幼保一元化」を進めてきた。そして、平成24年「子ども・子育て関連3法」が公布され、平成27年4月1日から「子ども・

子育て支援新制度」が始まった。「認定こども園」や「小規模保育所」などの新しい制度が生まれ、保育の量的拡大や確保、待機児童が注目されている。しかし、新制度の目的には、質の高い幼児期の保育・教育の総合的な提供、地域における子ども・子育て支援の充実を図ることもあげられており、保育・教育の内容や質、「子どもの成長」という視点からの充実策がこれからの課題である。

(2) 掛川市の最初の幼稚園は、明治23年、報徳社の中に私立幼稚園として誕生した掛川幼稚園である。後に掛川町立となり、118年の歴史を刻んだ。全国に先駆けて行われた「幼保一元化」は、それまであった23の公私立幼稚園・保育所を8園に再編するものであり、完了したのは平成23年度である。優れた人々の力によりその歴史が積み上げられてきた。

また、大東・大須賀区域の公私立幼稚園・保育所は13園あり、今後「認定こども園」に再編する計画が進んでいる。大きな制度の変化の時代を迎え、新たなビジョンを立て、内容・質の充実が求められている。

3 保育・教育に携わる者の研究・研修体制

(1) 保育士や幼稚園教諭、保育教諭の研究・研修は、施設の形態により様々である。公立園は、市こども希望課主催の、園長会や研修会が計画的に展開されている。公立幼稚園は、県・中部の園長会・教育研究会、幼児教育研究会が展開されている。

私立幼稚園は、県私学協会や遠州地区私立幼稚園協会、掛川市私立幼稚園協会があり、連携を図りながら研修が進められている。

保育所は、県保育所連合会、掛川小笠保育士会やブランコの会があり、計画的に研修会を開催している。

教育センターによる実技研修会には、公・私立の幼稚園・保育園が参加している。

これらの別々の組織や研修体系を、掛川市において再編成し、広く交流するとともに学び合いや高め合いをつくり、視野を広げ、質の高い内容への転換をめざす必要がある。

(2) 新しい制度「認定こども園」での保育・教育はどう在るべきかは大きな課題であり、研修と幅広い実践研究が必要である。そのための体制づくりが求められる。

(3) 特別な支援を必要とする子どもが増えつつあり、専門的な指導方法の研修が必要である。

(4) 子どもや保護者の変化に対応した新しい指導方法、教材開発が求められている。

(5) 食物アレルギーや健康安全、防災など新しい課題に対する指導者の力量向上が求められている。

(6) 掛川市において、3歳～5歳の子どもの約97%は保育所、幼稚園等に就園している。こうした時代の保育・教育制度はどうあったらよいのか研究し、提言していく必要がある。

4 掛川らしさ

- (1) 平成28年3月、「教育大綱かけがわ」が策定され、「人づくり構想かけがわ」及び「掛川市子ども・子育て支援事業計画」により保育・教育を展開している。さらには、質の高い乳幼児教育をめざして、「掛川市乳幼児教育ビジョン」を掲げ、方向性を示していく考えである。保育においても体験や教育活動をいっそう豊かにし、特色ある内容を展開していきたい。
- (2) 市民や教育関係者が一同に会して教育のことを考える「かけがわ教育の日」が10年目を迎える。そして、平成25年度から市内全域で展開されている「中学校区学園化構想」の推進により、保幼小中が連携した一貫教育が実践され、大きな成果をあげている。「子ども育成支援協議会」には公立園も私立園等も構成員となり、地域の大勢のボランティアが園・学校に来て「市民総ぐるみの教育」が展開されている。園は、小学校との連携の工夫や地域の教育力を取り込んだ取組をさらに研究していく必要がある。
- (3) 平成26年に策定した「かけがわお茶の間宣言」は、人づくりの土台を「お茶の間」として、家庭教育の大切さを訴えている。乳幼児教育においても、家庭の教育力を引き出し伸ばしていくことが重要であり、保護者に寄り添った取組を展開する必要がある。
- (3) 掛川市は「協働のまちづくり」を進めており、様々な主体者が力を合わせて、支え合い役立ち合うことを目指している。

乳幼児教育においても、公立や私立、保育所や幼稚園、認定こども園、さらには小規模保育所や認可外保育所など多様な主体者と市が協働して、子どもたちの未来のために高め合っていきたい。

補足 これまでの組織や研修体系を再編成するには、相当な時間が必要である。最初は組織づくりから始め、できる事業から着手するなど段階的な計画をしていかなければならない。

市は、市民と協働で質の高い乳幼児教育を展開するようイニシアチブをとる必要がある。

定例記者会見
平成28年8月9日
社会教育課

常葉大学・静岡文化芸術大学の学生による松ヶ岡（旧山崎家住宅）の活用整備計画の発表会を開催します

この度、掛川市指定文化財である松ヶ岡（旧山崎家住宅）で、常葉大学と静岡文化芸術大学の学生による活用整備計画の発表会を開催します。

記

日時 8月12日（金）午後1時30分～午後4時

会場 松ヶ岡（旧山崎家住宅）掛川市南西郷838番地

内容 常葉大学造形学部と静岡文化芸術大学デザイン学部の4月からの授業において、松ヶ岡を取り上げ、その活用整備計画が発表されます。学生は、事前に松ヶ岡を見学しており、若い感性で、リノベーション（建物をより良く作り替える）、コンバージョン（建物の用途変更）が提案されます。常葉大学生9人、静岡文化芸術大学生2人の発表を予定しています。若い学生の提案は、今後の松ヶ岡プロジェクトの活動に参考としていきたいと考えています。

担当者名 鬼澤勝人・井村広巳
電話番号 21-1158

定例記者会見
平成28年8月9日
福祉課
企画政策課

平成28年度「掛川市戦没者追悼式」・「掛川市平和祈念式」を開催します

8月15日は終戦記念日であり「戦没者を追悼し平和を祈念する日」と制定されています。終戦71周年を迎え、時代は変わりましたが、今日の平和と繁栄の礎となりました英霊に対する感謝の気持ちを忘れることなく、平和の尊さと悲慘な戦争の教訓を次世代に語り伝えていくために「掛川市戦没者追悼式」及び「掛川市平和祈念式」を下記により開催します。

記

日時	戦没者追悼式 8月15日(月)午前9時30分 平和祈念式 8月15日(月)午前11時00分	開式 開式(予定)
会場	掛川市生涯学習センター ホール	
内容	<戦没者追悼式次第> 国歌斉唱 黙とう 市長式辞 追悼のことば 戦没者遺児のことば(太田 雅規 掛川市八坂在住) 献花(児童20名:戦没者の関係者等を含む) 遺族代表のことば(掛川市遺族会 会長 川口 功) <平和祈念式次第> 市長あいさつ 平和の語り部による講演「戦中・戦後の暮らし」「浜松大空襲」 (浜松市浜北区遺族連絡会 鈴木敏栄 伊藤慶子) 広島市平和記念式典参加生徒による報告 (掛川東中学校、掛川北中学校、大須賀中学校) 「平和を考える自由研究」優秀者による作文発表 (大須賀中学校卒業生 綱取 愛華)	

戦没者数 2,931柱(掛川1,954柱、大東634柱、大須賀343柱)

遺族会員 1,678名(会長 川口 功 掛川市大坂在住)

その他

学習センター北側駐車場に報道用駐車場を設けますので、報道用駐車証を掲示して駐車してください。

戦没者追悼式	担当者名	戸塚雄二・藤川拓也
	電話番号	21-1140
平和祈念式	担当者名	深田貴子・村上宏行
	電話番号	21-1127

2016 大東町商工会

8月20日 土

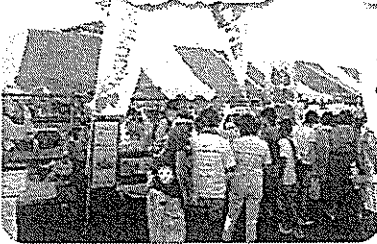
商工祭

ふれ愛・いとくり通り

ストリートパフォーマンス



夜店



抽選会

先着1,000名
空くじなし!
16:00
20:00



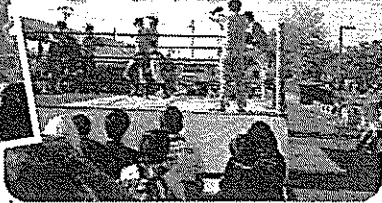
茶のやさんしるふ
CHAYAN (100%)

来たる!!
榎葉昌寛氏
(テノール歌手)

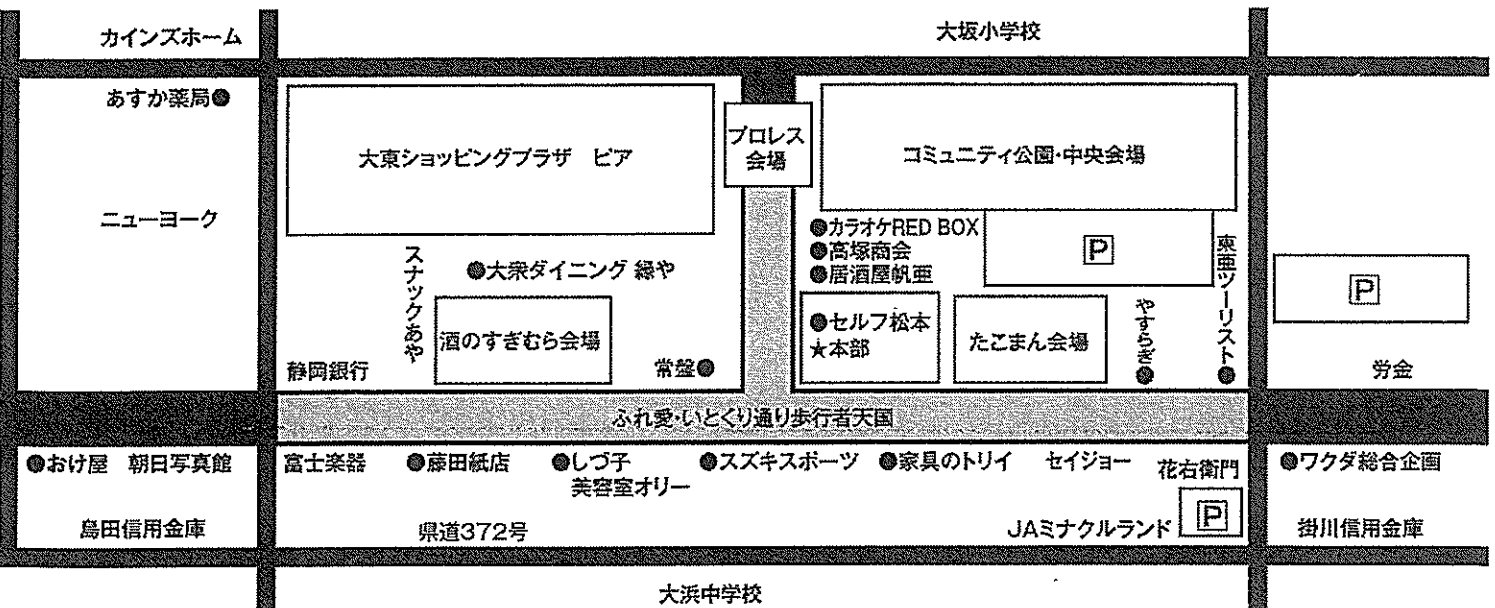


掛川市出身。静岡県立掛川西高、東京芸術大学音楽科卒業。
国際ロータリー財団奨学生としてイタリア国立ミラノ・ヴェル
ディ音楽院にて学ぶ。
・99年テラモ市立劇場「橋姫」アルフレード役にイタリア
劇場デビュー。
・03年日本人初のマリア・カラス賞を受賞。
・06年より地元掛川を本拠地に「榎葉昌寛後援会」が発足。
・06年からは「掛川ふるさと親善大使」にも任命される。
現在、イタリアと日本にて、テノール歌手として幅広い音楽活
動を精力的に行っている。

UWF 関東学生
プロレス



花火 20:50~
21:00



会場

コミュニティ公園 ふれ愛・いとくり通り周辺

掛川市大坂

歩行者天国 正午~午後9時 荒天の場合翌日8月21日(日)

お問合せ 大東町商工会 0537-72-2701

定例記者会見
平成28年8月9日
社会教育課

第1回「白熱サイテク（サイエンス&テクノロジー）教室」を開催します

下記のとおり教室を開催します。

記

目的 子どもたちの「ものづくり」への興味・関心を高め、科学的思考力を育成します。また、学校の授業では取り扱わない分野の実験や観察などを、本教室において体験し、子どもたちの知的探究心を刺激します。

概要 事業者や大学、市等が連携し、社員・職員を講師として迎え、教室を開催します。本市には、様々な分野の事業者が立地していることから、各事業所で製造される生產品や商品について、その製造過程における技術や仕組みを、技術者や職人、社員の方たちにわかりやすく説明していただきます。

内容

【日時】 8月24日（水）8：50～12：00（受付：8：30～）

【対象者】 小学生・中学生・高校生（家族・保護者等）

【協力企業】 (株)キャタラー / (株)資生堂 掛川工場

【会場】 掛川市生涯学習センター 大ホール

【教室内容】

第1時限（9:00～10:20）「キレイの秘密を科学する」（資生堂）

第2時限（10:30～11:50）「ショックバイ！化学の力できれいな空気」

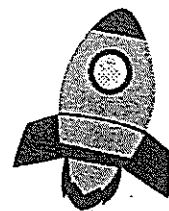
（キャタラー）

担当者名 社会教育課社会教育係 水谷忠史・山崎多佳子
電話番号 21-1157

☆第1回 白熱サイテク教室☆

(サイエンス&テクノロジー)

めざせ！未来のノーベル賞



みんなおいでよ！

「CMに出ていたあの製品って、掛川でつくっていたの？」
「あの製品に使われているハイテク技術ってどんなもの？」
このような子どもたちの素朴な疑問に、ズバリお答えします！

掛川市内には、優れた科学技術により、一流の製品を日本全国や世界各地へと出荷している会社がたくさんあります。本教室は、市内企業のご協力を得て「科学の面白さ」や「ものづくりの楽しさ」を子どもたちに体験していただく趣旨で企画しました。

記念すべき第1回の教室は、下記により開催します！
子どもも大人も一緒になって「科学」に触れてみませんか？

日 時：8月24日(水) 8:30 受付、8:50 開会、12:00 終了

対 象：小学生・中学生・高校生(ご家族等、大人も参加可)

※小学生については、高学年からの参加をお勧めします。

会 場：掛川市生涯学習センター 大ホール

内 容：

第1時限：「キレイの秘密を科学する」

キレイの秘訣を
ゲットせよ！

9:00～10:20 講師：(株)資生堂 掛川工場 様

第2時限：「ショックバイ！化学の力できれいな空気」

10:30～11:50 講師：(株)キャタラー 様

排ガス浄化の
ヒミツを探れ！

参加者(学生)には記念品を差し上げます！

参加費：無 料

申込方法：下記メールまたは FAX・電話でお申込みください。

申込期限：8月10日(水)

TOYOTAライ
もやってくる！

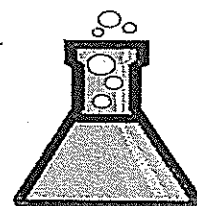


skyoiku@city.kakegawa.shizuoka.jp

掛川市教育委員会 社会教育課

FAX:0537-21-1222 TEL:0537-21-1157

※事前申込み無しでの当日参加も可能です。



定例記者会見
平成28年8月9日
地域医療推進課

中東遠総合医療センター 第15回 医療市民講座の開催について

今年度2回目（通算15回目）となる医療市民講座が下記のとおり開催されます。

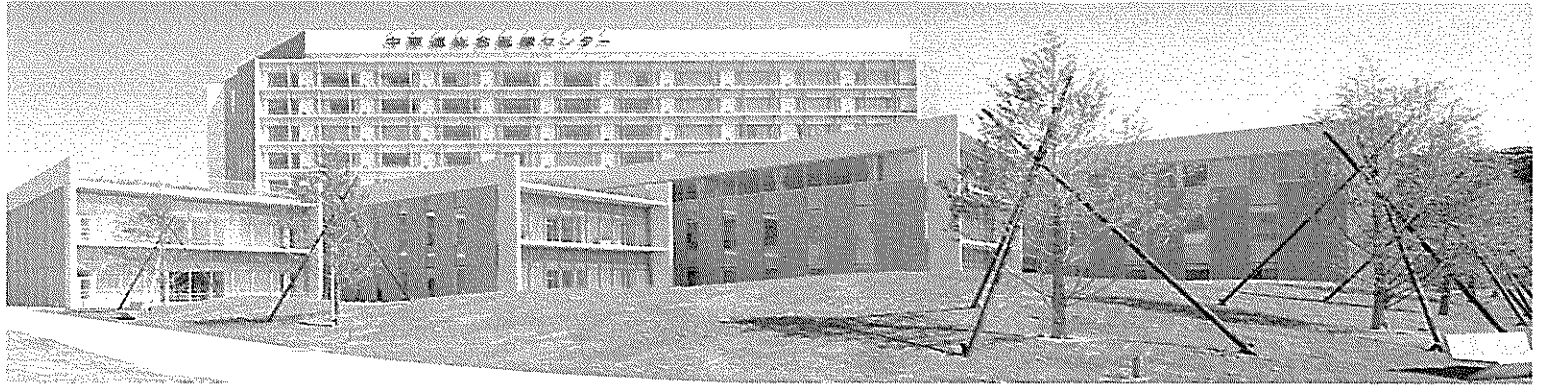
記

- 1 目的 掛川市・袋井市など中東遠地域の皆様に同センターを身近に感じていただくとともに、地域の皆様の健康意識等向上に寄与するため。
- 2 概要 同センターの医師・スタッフが最新の医療についてわかりやすく解説します。年に4回程度（1回あたり2演題程度）開催しており、来場者からは毎回ご好評をいただいております。
- 3 日時 9月10日（土）午前10時～正午
- 4 会場 中東遠総合医療センター 3階大会議室（掛川市菖蒲ヶ池1-1）
- 5 内容 演題①「難治・進行消化器がんへの挑戦」
講師 京兼 隆典 医師（副医務局長 兼 外科診療部長）

演題②「白内障について」
講師 土屋 陽子 医師（眼科部長）
- 6 その他 どなたでも参加可、入場無料、事前申込不要。
別添のチラシもご参照ください。

問合先：中東遠総合医療センター
経営戦略室 渡邊江里・野末徹
電話番号 28-8920 (直通)

医療市民講座



中東遠総合医療センターの医師・スタッフが最新の医療についてわかりやすく解説します。是非ご来場ください。

演題①

講師

「難治・進行消化器がんへの挑戦」

京兼 隆典 医師

(副医務局長兼外科診療部長)



演題②

講師

「白内障について」

土屋 陽子 医師

(眼科部長)



日時 平成28年 9 月 10 日 (土)

午前10時～正午

場所 中東遠総合医療センター

(掛川市菖蒲ヶ池1-1)

3階 大会議室

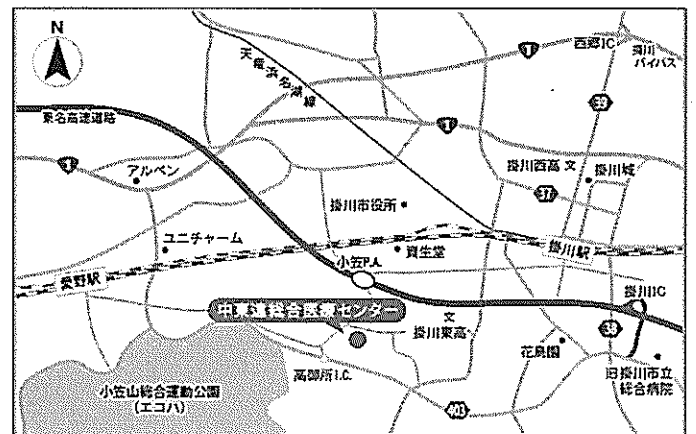
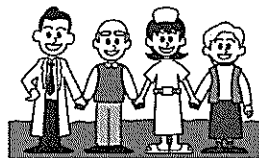
参加費 無料

申込み 不要です。

当日、直接会場にお越しください。

問合せ 中東遠総合医療センター

経営戦略室 TEL 0537-21-5555(代)



皆様のご来場を
心よりお待ちしております